

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) S I
所属 (School) 現代システム科学域
マネジメント学類
学年 (Grade) 4 回生
留学先 (Name of overseas institution)
国立台南大学
留学期間 (study abroad period)
2018/8/10~2018/8/16

留学レポート Study Abroad Report

私は台南大学でのサマーキャンプでたくさんの素敵な経験をする事が出来ました。台南大学の先生方や学生はとてもフレンドリーで、研修やグループワークに対する意識がとても高く、積極的にプログラムに参加する事が出来ました。

しかし、楽しいことばかりではありませんでした。サマーキャンプの授業初日に台南大学の学生と大阪府立大学の学生が混合したグループわけが行われました。私の班は、日本語を少し理解できる台南大学の学生が一人いましたが、日本人の中には中国語を理解できる人間がいませんでした。授業やグループワークの間はお互いの母国語を使わずに、英語で取り組むことがルールでしたが、お互いの英語のレベルが違ったり、言い回しや発音のなまり方が異なったりと初めのうちは緊張もあり意思疎通すら困難でした。そして授業を通して学んだ分野も私にとっては馴染みのないものでしたし、班のメンバーの専攻もやはりバラバラなので知識の幅や層が異なり、同じ一つの問題にフォーカスして、同じ考え方をし、解決策を導き出すのは本当に難しかったです。数日間のグループワークで交友を深め、コミュニケーションのとり方、会話の仕方を試行錯誤して、最終日にはほぼ言い直しや通訳の必要なく意思疎通できるようになり、みんなで協力し、一つの課題における解決策を自信を持って英語で発表する事が出来ました。この時の達成感は何事にも変えがたいものでした。また他のグループの発表を聞くことも、同じ授業を受けたのにそれぞれ受け取り方や考え方、目の付け所が異なっていて大変楽しかったです。この時にはみんな緊張や躊躇いが無くなっていたので、発表終わりに積極的に質問したり、感想を述べ合うことができました。

この1週間のグループワークを通して、共通言語としての英語の重要性を深く実感しました。お互いが相手の言語を理解できない場合、必然的に英語を用いてコミュニケーションをとる場面が多くなると思います。しかしそれぞれの出身地や専門分野などのバックグラウンドからお互い上手く英語を話していても意思疎通できないということは起こりえます。そんな時のために私は、相手に聞き取ってもらうために「はっきりとした正しいアクセントや文法」を使うこと、ネイティブ・スピーカーでなくても理解しやすい「簡潔な言い回し」で話すこと、そして恥ずかしがらずに「検索エンジンに頼ること」が大切だと考えました。特に恥ずかしがらずに「Google 検索すること」はわかったふりや、思い込みで相手の言葉を理解し、会話を続けて、どんどん話が噛み合わなくなるよりも断然恥ずかしくないことで、しかも効率的だと感じました。これらの学びは将来、ノンネイティブ・スピーカーだけでなく、ネイティブ・スピーカーと話す時にも必ず活用できるコミュニケーション方法だと感じました。私は来年からオーストラリアの語学学校に通います。語学学校に通うのは同じく英語のネイティブ・スピーカーではない人達で講師はネイティブ・スピーカーなのでこの経験を生かす事が出来ると思います。また将来外国人の方と仕事をしたいと思っているので同じくこの経験は糧になると感じました。

また、台南の人々はたまたま立ち寄ったお店の方でさえみんな優しく、私たちが現地の言葉が分からないにも関わらず、日本語や英語や身振り手振りでメニューの説明をしてくれたり、台南について教えてくれたり、日本に行った時の思い出や日本人の友達についてなどお話ししてくださいました。一緒に写真を撮ってくれ、そのあとFacebookで連絡をくれた方もいました。私は外国でローカルの人々が通っているカフェを探すのが好きなので、朝起きられた時はGoogleMAP やインスタグラムで近所のオシャレなカフェを探し、ホテルで自転車を借りたりして

何店舗か朝ごはんを食べに行きました。あるお店のオーナーは私たちに英語で、レシピや材料まで説明してくれ、私がリクエストした曲を点内のスピーカーで流しながら料理を作ってくれました。日本でもカフェのオーナーとこんなに仲良くなったことはなかったので、忘れられない思い出になりました。台南大学の学生も、私たちが行きたい場所、食べたいもの、買いたいものを積極的に毎日聞いてくれ、昼休みや放課後は色々な所へ連れて行ってってくれました。私が台湾のプライドチキンを食べてみたいというと、ダイエット中で自分は食べれないのに台南にしかない人気のプライドチキン屋さんへ連れて行ってってくれた子もいました。

はじめての留学や海外研修を考えている方にも、初めではない方にも台南は本当におすすめできる場所です。海外で何かを勉強するという事は、「自分の言葉は通じるだろうか」「自分は相手の言っていることを理解できるだろうか」「授業のレベルについていけるだろうか」という緊張や不安が誰しもあると思いますが、台南の人々はみんな優しく、上手くコミュニケーションがとれないからといって突き放した態度をとるような人はいませんでした。もちろん、上手い出来ないことはありましたが、心の底から不安な気持ちや嫌な気持ちになったことは一度もありませんでした。そして台南は寺社や伝統的な建築物と現代的なオシャレな街並みが良い意味で混在し、また自然も溢れる美しい街です。たった1週間という短い期間でしたが、絶対にまた来たいと思える街でした。

台南にしかない人気のプライドチキン屋さん→



最終日にはバスでみんなで観光もしました↑

